

科学・技術の哲学(金曜1限)第一回レポート課題

1 テキスト『疑似科学と科学の哲学』第一章および資料「カール・ポパーの生い立ちと哲学」をよみ、

(1) 反証主義とはどういう立場なのか、そしてそれは線引き問題とどう関わっているのかを自分の言葉でまとめよ。

(2) 過小決定(決定不全)とは何をさす言葉なのか、そしてそれは線引き問題とどう関わっているのかを自分の言葉でまとめよ。

長さは(1)、(2)、あわせて800字程度とする

※「自分の言葉で」とは、教科書、資料、その他の文献からの引用をつぎはぎするのではなく、自分で文章をまとめよ、という意味。テクニカルタームなどはそのまま使ってもかまわない。

2 上の1での自分のまとめをふまえて、以下の問いに答えよ。

疑似科学とされる分野一つ*をとりあげ、

(1) その分野の理論や研究の概要を自分の言葉でまとめ、

(2) 反証主義の観点からその分野がどう分析されるかを具体例を挙げながら自分の言葉でまとめ、

(3) 過小決定(決定不全)の観点から(2)の分析がどう批判されるかを具体例にそって自分の言葉でまとめよ。

長さは(1)、(2)、(3)あわせて1000字程度とする

※ 分野としては、創造科学、ID論、精神分析といった、授業ですでに取り上げたものを使ってもよいし、教科書のあとの方やプリント「ニセ科学」入門で紹介されているようなものを取り上げてもよい。

諸注意

教科書と授業プリント以外のものを参照してレポート中に利用している場合は必ず最後に文献名を挙げること(字数には含まない)。特に、他人の文章をそのまま使う場合は、必ずかぎ括弧で引用箇所を明示し、出典を明らかにすること。盗作が判明した場合、その場で授業成績が「不可」となる場合があるので注意。

ワープロ推奨だが手書きも可。(手書きの場合は原稿用紙使用のこと、ワープロの場合は各項の最後に字数を明記すること)。複数ページにわたる場合はホチキスで留めて提出すること。また、レポートには名前と学籍番号も忘れずに書くこと。

採点基準

評価はA~Eの五段階で行う。

1、2に関してはまとめの的確さ、3に関してはどれだけ自分(達)の頭を使ったあとが見られるか、が採点基準となる。長すぎるレポート、短かすぎるレポートも減点する。